

(平成 23)2011 年度 事業報告

2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日

ウッドマイルズ研究会

1. 事業の実施概要および成果

I. 関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアルは、Ver.2008-04 を運用中。以降の追加修正は行っていない。

II. 普及及びネットワークの形成事業

研究会恒例の催しとなっているウッドマイルズフォーラム 2011、ウッドマイルズセミナー2011 を開催した。ウッドマイルズフォーラム 2011 (7 月：東京) では、東日本大震災を踏まえ、地域の力を活かした木造の仮設住宅や施設などの建設をテーマに、ウッドマイルズセミナー2011 (10 月：京都) では、2010 年度に作成した木材調達チェックブック (5 つのモノサシを用いた木材調達の多面的評価) をテーマに開催した。

ウッドマイルズ関連指標算出技術者を養成する算出講習会は、希望に応じて 2 回開催したと共に、長期優良住宅先導事業に係るウッドマイルズ関連指標の算出 (町の工務店ネット：34 件) を行った。

III. 情報収集研究事業

森林総合研究所との共同研究「森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発－伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発」を行い、平成 23 年度は「森林・林業再生プラン」により試算されている 2020 年の需要量に対する現状からの輸送エネルギーの変化を推計した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者	支出額 (千円)
関連指標及びツールの開発	マニュアル・プログラムの維持管理	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員多数	0
普及及びネットワークの形成	ウッドマイルズフォーラム 2011 開催	7/16	大手町：安田コミュニティプラザ	12 人	参加者 50 名	525
	ウッドマイルズセミナー2011 開催	10/26	京都府職員福利厚生センター	11 人	参加者 48 名	471
	算出講習会 (合計 2 回)	10/28 11/20	大阪、広島	1 人	認定取得者 7 名	65
	ホームページ更新管理	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	ニュースレター配信 (39～43 号)	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	関連指標算出 (34 件)	4/1 ～3/31	事務局	1 人	町の工務店ネット 15 社	170
情報収集研究	伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発	4/1 ～3/7	事務局他	9 人	関係者多数	2,004

<各事業の概要>

ウッドマイルズ研究会 2011 年度総会



日時／2011年7月16日(土) 10:15～11:45

場所／安田コミュニティープラザ A+B 会議室

(審議事項)

- 1) 2010 年度事業報告及び収支決算について
- 2) 2011 年度事業計画及び収支予算について
- 3) 役員を選任について 4) その他

正会員 15 名および表決委任者 91 名による総会は、藤原議長のもと全ての審議事項が承認された。

ウッドマイルズフォーラム 2011 ～木造仮設建築物の支援活動から、地域の森林・木材・建築を考える



日時／2011年7月16日(土) 13:15～17:30

場所／安田コミュニティープラザ A+B 会議室

主催／ウッドマイルズ研究会

〔第1部:取組事例報告～地域の力を生かした、木造仮設建築物建設支援の現場から〕

LIFE311 被災地支援プロジェクト (水谷伸吉氏)、手のひらに太陽の家プロジェクト (大場隆博氏)、震災によって発生した廃木材の再資源化と木造仮設建築物への「復興ボード」供給の試み (内田信平氏)、3.11 生活復興支援プロジェクト (親松直輝氏、下田奈祐氏)

〔第2部:ディスカッション～取組事例報告から、地域の森林・木材・建築を考える〕

第一部報告者+熊崎実氏、藤本昌也氏、藤原敬氏、三澤文子氏

地域の力を活かした木造の仮設住宅や施設などの建設を支援している4つの活動報告、およびウッドマイルズ研究会関係者を交えたディスカッションを行い、主に地域の森林・木材・木造建築関係者の役割や今後のあり方などについて議論した。森林・木材・建築関係者、学生、その他、50名が参加した。

ウッドマイルズセミナー2011 ～5つのモノサシを用いて、木材の調達を多面的にチェックする



日時／2011年10月26日(水) 13:00～16:50

場所／京都府職員福利厚生センター第1会議室

主催／ウッドマイルズ研究会 共催／京都府

後援／京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都府産木材認証制度運営協議会、NPO法人京都・森と住まい百年の会、NPO法人古材文化の会

〔第1部:木材調達チェックブックの概要と関連する京都府の取組〕

5つのモノサシを用いた「ウッドマイルズ研究会版ー木材調達チェックブック」の概要 (滝口泰弘)、京都府の森林や木材に関する新たなアクションプランについて (森井一彦氏)、京都府産木材の品質基

準と環境指標の領域拡大の取組（瀧上佑樹氏、佐々木ふみ氏）

〔第2部：木材調達チェック事例報告&意見交換会〕

豊田保之氏、清水安治氏、大熊幹章氏、高木美貴氏、白石秀知氏＋第一部報告者

2010 年度にウッドマイルズ研究会で試行的に作成した「5つのモノサシを用いた木材調達チェックブック」を用いて、多面的な評価に基づき木材を調達するという考え方の普及啓発やモノサシ自体の改良を図ることを目的として、京都府という地域を対象に、関連する京都府の制度や取組を学ぶと共に、具体的な評価事例や方法について議論した。森林・木材・建築関係者、学生、その他、48名が参加した。

ウッドマイルズ算出講習会

実施日	場所	受講者数	備考
10/28	(株) 沖田 (広島)	4名	認定4名
11.20	MOK ソーホー (大阪)	6名	認定3名
	2012年度 (参考)		
5/28	屋久島大屋根の会 (屋久島)	5名	認定5名

関連指標算出

長期優良住宅先導事業（平成 22 年度第 1 回）採択事業、「近くの山の木で家をつくる会（町の工務店ネット）」に関する 34 物件（15 社）のウッドマイルズ関連指標の算出を事務局にて実施した（各住宅とも構造材のみ）。

＜参考：長期優良住宅先導事業における主な算出実績＞

「段階別改修メニューの確立・木造建築病理学・「既存ドック」システム 2（住宅医ネットワーク）」（平成 22 年度第 1 回）採択事業にて、15 物件のウッドマイルズ関連指標を算出。

「地域の森林資源に応答する一天然木の家長期優良モデル（(株)渡邊工務店）」（平成 22 年度第 1 回）採択事業にて、20 物件のウッドマイルズ関連指標を算出。

「地域林産業主導型：林産地と都市をつなぐ長期優良住宅（(株)山長商店）」平成 22 年度第 2 回）採択事業にて、80 物件のウッドマイルズ関連指標を算出。

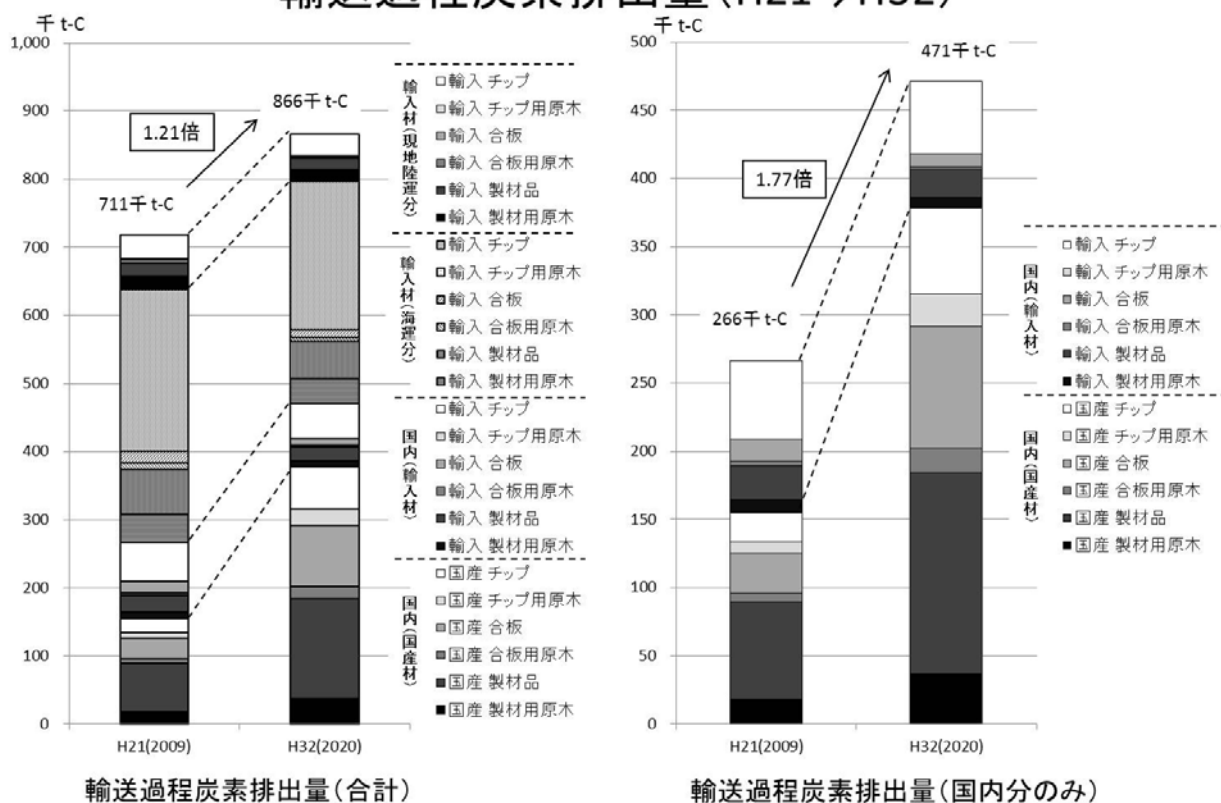
「性能向上レベルの明確化・木造建築病理学・「既存ドック」システム 3（住宅医ネットワーク）」（平成 23 年度第 1 回）採択事業にて、25 物件のウッドマイルズ関連指標を算出（予定）。

伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（輸送エネルギーの解析担当）

「森林・林業再生プラン」により試算されている 2020 年の製材・合板・チップの需要量に対して、現状（2009 年）からの輸送エネルギーの変化を推計した。

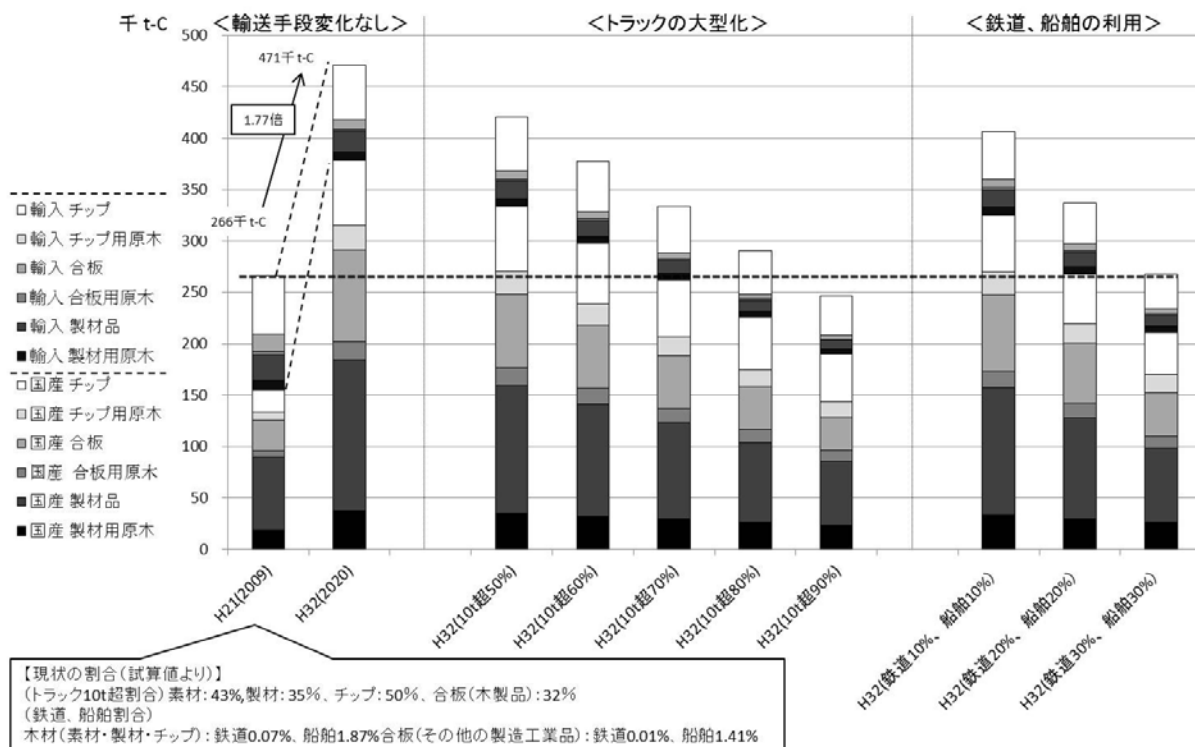
「森林・林業再生プラン」の試算では、2020 年の木材需要量は 81,110 千 m³ であり現状（2009 年：63,210 千 m³）の約 1.3 倍に増加しているのに対し、木材輸送過程炭素排出量は、国内輸送分のみでは現状の約 1.8 倍に、海外輸送分も含めると現状の約 1.2 倍になることが分かった。国内輸送分においては、大型トラック率を全体の 85%程度、又は鉄道・船舶利用率を全体の 30%程度にまで高めると、現状の炭素排出量と同程度に維持できることも分かった。

輸送過程炭素排出量(H21→H32)



(図1 輸送過程炭素排出量の変化)

輸送過程炭素排出量(国内分—輸送手段別)



(図2 輸送手段の変化に伴う輸送過程炭素排出量)

2. 研究会の組織

(2012/3/31 現在)

算出技術者認定取得のための算出講習会を中心に、個人、法人ともに会員数が増加した。

種 別	2010 (H22) 年度	2011 (H23) 年度	備 考
顧問	18 名	18 名	
技術委員	4 名	4 名	
正会員個人	132 名	137 名	5 名 増
正会員法人	43 社	47 社	4 社 増
賛助会員個人	23 名	23 名	
賛助会員法人	0 社	0 社	
認定算出技術者	142 名	149 名	7 名 増
ニュースレター配信	460 名	476 名	16 名 増

(※参考 2012/7/21 現在)

種 別	2011 (H23) 年度	2012.7.21 現在	備 考
顧問	18 名	18 名	
技術委員	4 名	3 名	1 名退職
正会員個人	137 名	131 名	6 名減
正会員法人	47 社	47 社	
賛助会員個人	23 名	20 名	3 名減
賛助会員法人	0 社	0 社	
認定算出技術者	149 名	154 名	5 名 増

(平成23) 2011年度事業会計収支決算書

2011年4月1日から2012年3月31日

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 会費・入金収入			
(1) 年会費			
・正会員個人 5,000円×63名=315,000	315,000		
・正会員法人 30,000円×28社=840,000	840,000		
・賛助会員個人 3,000円×9名=27,000	27,000		
・賛助会員法人 30,000×0=0	0		
		1,182,000	
2 事業収入			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2011(東京)	104,000		
・ウッドマイルズセミナー2011(京都)	83,000		
・算出講習会(大阪、広島)	65,120		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	170,000		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,000,000		
		2,422,120	
3 その他			
(1) 利息・雑収入	104		
		104	
当期収入合計(A)		3,604,224	
前期繰越収支差額		4,599	
収入合計(B)			3,608,823
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2011(東京)	524,762		
・ウッドマイルズセミナー2010(京都)	471,064		
・算出講習会(大阪、広島)	65,000		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	170,000		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,004,820		
		3,235,646	
2 管理費			
(1) 事務局委託費(ホームページ・ニュースレター・運営管理・事務所使用料等一式)	315,000		
(2) 借損料(総会会場費はフォーラムに計上)	0		
(3) 旅費・交通費	0		
(4) 通信費	39,920		
(5) 支払手数料	14,100		
(6) 消耗品費	0		
(7) 租税公課	0		
		369,020	
当期支出合計(C)			3,604,666
当期収支差額(A)-(C)			▲442
次期繰越収支差額(B)-(C)			4,157

2011年度（平成23年度）事業会計貸借対照表

2012年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	188,064		
預金	133,093		
売掛金	0		
前払金	0		
流動資産合計		321,157	
2 固定資産			
固定資産合計	0		0
資産合計			321,157
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	315,000		
前受金	2,000		
預り金	0		
流動負債合計		317,000	
2 固定負債			
固定負債合計	0		0
負債合計			317,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,599	
当期正味財産増加額		▲ 442	
正味財産合計			4,157
負債及び正味財産合計			321,157

2011年度（平成23年度）事業会計財産目録

2012年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
現金手許高	188,064		
預金			
十六銀行美濃支店	0		
三井住友銀行新百合ヶ丘支店	44,703		
郵便局	88,390		
売掛金	0		
前払金	0		
流動資産合計		321,157	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			321,157
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
	0		
未払金			
事務局委託費	315,000		
前受金			
2012年度分年会費	2,000		
預り金	0		
流動負債合計		317,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			317,000
正味財産			4,157

2011 年度 収支決算 監査報告書

ウッドマイルズ研究会の 2011 年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2011 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 24 年 7 月 6 日

ウッドマイルズ研究会

監 事 豊田保之 

監 事 山村いづみ 